

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ホーチミン日本国総領事館

記入日 2014年2月16日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：『『ホーチミン市統計局作成 1月の経済社会状況』、第3章1節、建設投資』：2014年1ヶ月の同市における建設投資総額は約5,264億ドン（前年同期日の約97.4%）、そのうち、市レベルで支出された金額は約2,684億ドン（全体の51%を占める）・区又は県レベルで支出された金額は約2,680億ドン（全体の49%を占める）。なお、1月末はテト（旧正月）であるため、建設産業における仕事が少なくなっており、主に道路整備工事や排水工事などに集中している。

URL：ホーチミン市統計局のHP、3ページ（越語のみ）

<http://www.pso.hochiminhcity.gov.vn>

資料名：「2014年1月7日付け『サイゴン解放』紙（電子版）：見出し：「ホーチミン市は東南アジアのサービスセンターとして開発する。」

政府首相は、2020年までの「ホ」市における社会・経済開発総合計画及び2025年までのビジョンを承認した。

本計画の目標は、「ホ」市を、ベトナムの工業化及び現代化への貢献だけではなく、ベトナム及び東南アジアの経済・財政・貿易・科学技術のセンターとして開発する。また、「ホ」市を、ベトナムや地域のための文化・スポーツ・高度な人材訓練センターとして開発し、着実な経済成長を保証し環境保護に対する経済も発展させる。経済成長・工業・農業・社会などの分野の目標の他に、インフラ・給電・給水などの目標は次の通り。2011～15年期、中心部における降雨と満潮による洪水に対し、根本的に解決すること。「Tau Hu」・「Tan Hoa」・「Lo Gom」水路における慢性的な洪水地点を減らすこと。2016～20年期、残りの洪水地域を根本的に解決すること。

職業分野については、東南アジアのサービスセンターとして、主に次の9各分野を開発する。財政・信用・銀行・保険サービス、貿易・運送港湾サービス、郵政-情報通信サービス、財産・不動産サービス、経営・東南アジア地域の財政ネットワークのサービス。また、現代的なサービスのための以下のインフラ開発も促進する（スーパー・貿易センター・商品分配センター・オフィスビル・高級ホテル・電子取引所・高度医療センター・国際レベルの大学など）。

都市空間の計画については、「集中・多極」モデルとして計画され、半径15Kmである中心部の他に東西南北の4極における都市を開発し、「Can Gio 自然保護地区」と Cu Chi 県や Binh Chanh 県などにおける森林を保護する。

投資資本については、政府は「ホ」市に対し、市予算の均衡を確保しつつ、地方の重要な工事・プロジェクトを保証しつつ、計画を立案し投資配分を行うよう委任した。国営、民間、それから外資系からの投資資金の割合は、それぞれ 25%~30%と 50~55%、そして 15~25%である。

資料名：「2014年1月22日付け『入札』紙4ページ」、見出し：「「ホ」市は交通インフラへの投資に集中する。」

「ホ」市 2011~13年における経済・文化・社会開発」及び「2014~15年における任務・方針」の総括会議において、人民委員会は、この3年間で(2011~13年)「ホ」市は約90.9kmの交通道路及び45件の橋架を整備し、道路交通密度は1.85km/k m²を達成できた(2015年までの計画によれば、210kmの交通道路と50件の橋架整備、そして、道路交通密度は1.87km/k m²である。)。「ホ」市全体の土地に対する割合は、交通整備用土地は、2015年までは8.18%であり、2020年までは12.2%である。

「ホ」市も、交通インフラ整備への投資誘致を重視しており、国内外各社からの投資を促進する他に、民間会社も公益事業に参加できるよう PPP など柔軟的な体制を設置し、行政手続きなどを改善した。例えば、インフラ開発権を貸したり、所定期間内で道路通行料金徴収権を委託したり、道路沿いの広告なども民間企業にさせている。

人民委員会によれば、今後 ODA 資金を大いに活かしたく、大型インフラプロジェクトへの投資を集中したい。例えば、降雨の排水システム建設工事や降雨と生活排水分割システム建設工事、Binh An 給水所の拡張工事、公共交通設備の改善など。

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

| |
|-------|
| 特になし。 |
|-------|

3. 報道情報

| | タイトル、概要 | 日付/掲載紙 |
|---|--|---|
| 1 | <p>2014年1月2日、ベトナム高速道路投資開発会社(VEC)は、『Ho Chi Minh-Long Thanh-Dau Giay』高速道路の部分開通式典を行った。本工事は、日本ODAから640.3百万米ドルとADB銀から276.8百万米ドル他の投資で整備された。今般は、「ホ」市(第2区)からDong Nai省(Long Thanh)までの20kmの高速道路が開通し、交通所要時間を縮小するとともに交通渋滞も緩和し、「ホ」市と周辺各地との交易を強化すると期待されている。</p> <p>式典に出席した交通省 Nguyen Ngoc Dong 次官は、VECに対し、本工事後期(『Long Thanh-Dau Giay』間)は2014年末に完成し2015年初に開通できるように、現場の監督から工事の品質まで厳しく管理するとともに、関係各地方政権と協力し、高速道路を効果的に開発するよう指導した。</p> | <p>2014/1/3 入札紙 【越語】</p> |
| 2 | <p>2014年1月14日、ベトナム・ズン首相とカンボジア・フンセン首相は、両国を結ぶ『Long Binh-Chrey Thom』橋建設工事の着工式に参加した。この橋が完成すると、ベトナム(An Giang省)からカンボジア(Phnom Penh市)までの最も短い路線となる。</p> <p>本工事は、国道78号建設工事の次に、ベトナム政府がカンボジア政府に供与したODA借款案件であり(約18.76百万米ドル)、工事への投資総額は約38.39百万米ドルで、工期は20ヶ月の予定。</p> <p>ベトナム首相は、交通運輸省と財政省に対し、これまで、カンボジア関係省との交渉や協議を高く評価するとともに、今後もカンボジア交通省他と協力し、工事施工の管理を強化するし、工期どおり完成かつ開通できるよう指導した。</p> | <p>2014/1/14 交通運輸省 サイト 【越語】</p> |

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向(報道情報以外)

特になし。